

工学部及び大学院工学研究科専門科目におけるGPA取扱いについて

※GPAに関する取り決めは学生便覧の「「GPA」について」を参照してください。

※学部生の方へ：

全学共通授業科目の取扱いについては、「全学共通授業科目におけるGPAの取扱いについて」を参照してください(再履修して合格した場合の取扱いが異なりますので、注意してください。)

1. 履修登録した科目のうち、GPA計算式の計算対象外とする科目は以下のとおりです。

(1) 工学部

- ・履修取消をした科目
 - ・成績を「合格」で評価する科目
 - ・他大学等で単位修得し、本学で「認定」とした科目
(編入学生の既修得単位が該当します。)
 - ・卒業研究
 - ・各学科で指定する科目
 - 建築学科 : 特別講義Ⅰ～Ⅳ、高度教養セミナー(建築学先端研究)、
探究型建築演習A、B
 - 電気電子工学科 : 電気電子工学実験Ⅳ
 - 応用化学科 : 外国語講読
- 追加科目がある場合は、掲示にてお知らせしますので確認してください。

(2) 工学研究科

- ・履修取消をした科目
 - ・成績が「合格」又は「認定」で評価される科目
(研究経過発表、研究指導が該当します。)
 - ・特定研究
 - ・修了要件に入らない科目
 - 建築学専攻 : 建築構造設計演習(～20)、建築構造ゼミナール(～20)、
計画系インターンシップA1、A2、B1、B2、C
 - マルチメジャーコース認定用の科目
 - ・各専攻で指定する科目
 - 建築学専攻 : 建築環境ゼミナール、建築ゼミナールⅠ～Ⅳ、特別演習
 - 市民工学専攻 : 特別演習
 - 応用化学専攻 : 論文講究
- 追加科目がある場合は、掲示にてお知らせしますので確認してください。

2. 学部生の方へ：工学部の専門科目(時間割コードに「T」がある科目)については、再履修をして合格した場合、過去の「不可」もGPA計算式に算入されます。

大学院生の方へ：工学研究科の専門科目(時間割コードに「T」がある科目)及び先端融合科学特論については、再履修をして合格した場合、過去の「不可」もGPA計算式に算入されます。